

電気通信大学 平成17年度シラバス

授業科目名	ヒューマンインタフェース		
英文授業科目名	Human Interface		
開講年度	2005年度	開講年次	3年次
開講学期	6学期	開講コース・課程	夜間主コース
授業の方法		単位数	2
科目区分	専門科目-学科専門科目-選択科目		
開講学科・専攻	知能機械工学科		
担当教官名	坂本 和義		
居室	西5-407		

公開E-Mail	授業関連Webページ
sakamoto@se.uec.ac.jp	

【主題および達成目標】
(a) 主題：人間と機械と環境のシステムにおける、人間の機能の評価。人間の心理的および生理的側面から人間を評価する学問
(b) 達成目標：視覚機能、筋機能、脳機能の仕組みと働きの評価法との習得。

【前もって履修しておくべき科目】
なし。

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
なし。

【教科書等】
なし。毎回資料配布。

【授業内容とその進め方】
<p>-(a) 授業内容</p> <p>(1) ヒューマンインターフェイス(人間工学)とは何か</p> <p>(2) 心理情報の解析(感覚の法則、極小変化法、恒常法、一対比較法)</p> <p>(3) 感覚神経系(生体への入力系): 色彩(色光、表面色)の構成と評価</p> <p>(4) 筋神経系(生体からの出力系): 筋収縮の仕組み、筋電図測定法と評価方法</p> <p>(5) 脳神経系(生体情報の統合系): 脳の機能分化、睡眠脳波、誘発脳波</p> <p>(6) 応用: 作業評価(VDT作業)、OA椅子、履物、寝具など生活用具の評価、 障害者・高齢者機能評価</p>

電気通信大学 平成17年度シラバス

(7) 異環境における人間の適応：高圧環境、高温環境

(b) 授業の進め方：配布した資料を中心に説明する。毎回、出席カードを配布。質問を出席カードに書き、次週に回答する。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

(a) 評価方法：

期末試験、宿題、出席の結果を、次のように総合評価する。

成績評価	宿題	20%
	出席	20%
	期末試験	60%

(b) 評価基準：

S 90点以上
A 80-89点
B 70-79点
C 60-69点
D 59点以下

【オフィスアワー：授業相談】

適宜。

【学生へのメッセージ】

機械（装置や道具）の使用や環境が人間に与える影響は複雑であり、人間の機能を評価するには、心理的側面および生理的側面への考察が必要である。従って、人間を機能面で評価する場合は、多面的な評価（心理的、生理的、能率的な評価）が必要である。

【その他】